



教育後援会だより

NO. 1 昭和58年9月26日発行

発行所 京都市伏見区深草石橋町11-2
京都市立藤ノ森小学校内
藤ノ森小学校教育後援会
責任者 会長 野口平包

◆ご挨拶

教育後援会長 野口平包
学校長 川元 優

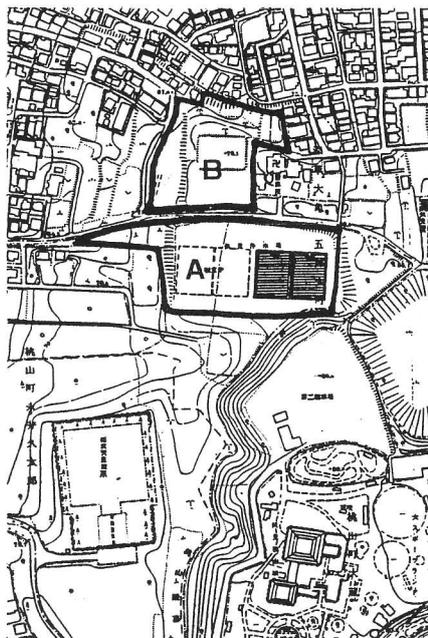
藤ノ森小学校の教育を支援し、発展させるための組織的な機関として発足いたしました「教育後援会」は、区内の多くの方々のお力添えをいただき、会員数が4千人を越えました。これは、藤ノ森小学校の振興を強く望まれる区民のみなさまの熱いご支援の現れと存じ、ここに厚く御礼申し上げます。

さて、当教育後援会といたしましては、藤ノ森小学校の教育諸条件の整備、学校新設の問題等に取り組んでまいりました。ここに、その経過をご報告申しあげ、みなさまの一層のご協力をお願いいたします次第です。

◆学校新設計画決まる

去る9月5日に決定の通知があって、9月14日に京都市教育委員会から小学校新設計画について説明がありました。

教育委員会としては、昭和60年度の開校を目的に諸準備に着手することですが、当教育後援会としては、できるだけ地域の声をとり入れた学校づくりを促進するよう、重ねて強く要請いたしました。



入ルートの設定は地域として非常に関心の高い問題ですが、校下の道路事情等を踏まえて、教育委員会としても慎重に検討を重ねるとのことです。

後援会としては、できるだけ地域のご要望を反映させるよう、教育委員会との折衝にあたりたいと考えております。学校建設の促進という観点からのみなさま方のご理解とご協力をお願いします。

◆高橋教育長談話

日頃は藤ノ森小学校教育の伸展のため、ご支援をいただきお礼申しあげます。

みなさまがたのご協力を得て、今日まで学校施設の整備充実に努めてまいりましたものの大規模校であるが故に、学校運営の面で関係者の方々にご心配もおかけいたしました。

教育委員会では地元からの再三にわたる強いご要望も受け、学校新設計画を検討し、建設用地の調整を終わり、昭和60年度の開校を目的に着手することになりました。

これから地域のご期待に応え得る学校建設を進めて参りますが、みなさま方のご協力を心からお願いいたします。

◆新設計画のあらまし

建設予定地は元水道局伏見浄水場跡のうち、

旧沔過池(別図A)約16,000㎡(約5,000坪)、及び旧配水池(別図B)約10,000㎡(約3,000坪)があてられます。(藤ノ森小学校の校地は約10,000㎡(約3,000坪)です。)

昭和58年度内に測量、関係諸調査、施設配置等を行い、昭和59年度に建設工事、昭和60年度の開校目途というのが現段階での教育委員会の計画です。

なお、工事用の進

◆入会のおすすめ

藤ノ森小学校教育後援会は、校区内のみなさま方の会です。藤ノ森教育に関心をおもちの方で、入会をご希望の方は、会費300円を添えてお申し込み下さい。

京都市立藤ノ森小学校内 藤ノ森小学校教育後援会(TEL 641-6305)
(会費は、一度納めていただくだけです。)

◆これまでの歩み

みなさまご承知のように、当校区では「藤ノ森小学校増改築促進委員会」を設けて、藤ノ森小学校児童の増加に対応してまいりました。

校舎につきましては、みなさま方のご協力を得て、去る昭和55年の中校舎増築工事をもって完了いたしました。

しかし、日々の教育活動の面につきましては、何かと問題点も多く、大規模校の解消こそが、抜本的解決になることを痛感してまいりました。

- 去る昭和56年6月9日、市教育委員会の出席を求めて話し合いをもち、
 - 続いて、同年6月15日、市教育委員会に対して、「学校新設の促進」を強く要請いたしました。
 - その後、継続して「早期実現」を働きかけてまいりましたが、藤ノ森創立50周年を機に、地元では、藤ノ森教育を支援し発展させるための新しい組織づくりの機運が盛り上がり、本年3月19日、当「藤ノ森小学校教育後援会」の結成をみるに至りました。
 - 本年6月1日、市教育委員会の出席を得て、藤ノ森の教育環境について学習するなかで、新学校については、少なくとも本年度内に計画の目途をつけるよう強く要請いたしました。
- 以上の経過を経て、漸く展望が開ける段階を迎えました。

◆これからの課題

これまでの経過や学校新設計画のあらましは以上のとおりですが、引き続き藤ノ森小学校の教育条件を整備(校地拡張等)すること等については、今後とも教育委員会に対して要望していきたいと考えています。